

令和7年度三重県受託事業

三重県新人助産師合同研修



【対象】三重県内の医療施設等にて周産期医療に携わる
就業1～2年目の助産師

【方法】対面講義

【会場】三重県立看護大学（津市夢が丘1丁目1番地1）

プログラム

コース研修全4回

受講料無料

日程	午 前(10:00～12:00)		午 後(13:00～16:00)	
11月1日 (土) 1日目	オリエンテーション 研修の目標設定	周産期分野における 感染管理の実践	母乳育児支援の基礎と実践	
	三重県立看護大学 教員	三重大学医学部附属病院 看護師長・感染管理認定看護師 新居 晶恵	日本母乳の会 理事 関西看護医療大学大学院看護学研究科母性看護・助産学分野 非常勤講師 井田 久留美	
12月13日 (土) 2日目	周産期のメンタルヘルス —予防とケア—		ハイリスク妊産婦の看護	自分育て： なりたい自分になるための セルフコーチング
	三重大学医学部附属病院 看護師長・母性看護専門看護師 森實 かおり		三重大学医学部附属病院 看護師長・母性看護専門看護師 森實 かおり	株式会社オフィス プレスユー 服部 恵美
1月12日 (祝・月) 3日目	早期新生児のアセスメント・ 異常の評価と対応		ハイリスク新生児の看護	
	国立病院機構三重中央医療センター 総合周産期母子医療センター 新生児科医長 内蘭 広匡		国立病院機構三重中央医療センター 総合周産期母子医療センター 新生児集中ケア認定看護師 山田 奈央	
2月7日 (土) 4日目	産婦人科診療ガイドラインにもとづく 緊急時の対応		事例検討をととした 助産師の判断と看護実践	
	伊勢赤十字病院 産婦人科部長 前川 有香		伊勢赤十字病院 産婦人科部長 前川 有香 国立病院機構三重中央医療センター 総合周産期母子医療センター 副看護師長 鈴木 薫、副看護師長 東 真由美	

*1日目・3日目の15:30～16:00では
「本日の振り返りと共有」を行います。



【研修開催にあたって】

助産師として就業して1～2年のみなさんは、日々の助産実践に
試行錯誤されていることと思います。

本研修は、厚生労働省策定の「新人看護職員研修ガイドライン」に
示された新人助産師の到達目標に沿いながら、助産師同士の交流
を通して、モチベーションを高めることを目的としています。

お申込み方法は、裏面をご覧ください

三重県立看護大学
地域交流センター

響き合う心、育ち合う技。めげず、私らしい助産師

お申込み方法

本学ホームページ(三重県立看護大学>地域貢献・国際交流>地域交流センター>各種研修 新人助産師研修)より、お申し込みください。
または以下の二次元コードを読み込んでいただくと、申込みフォームに移動します。
必要事項をご入力の上、送信してください。

参加者の把握のため、個人でのお申込みになります。



申込み締切 10月9日(木)



参加者の声

第1回

「実践ですぐに活かせる内容であった」
「実際演習で自分がしてみることで、
ラッチオンやポジショニングの指導の際の
褥婦への分かりやすい伝え方などが学べた」など

第2回

「メンタルヘルスについてどのように関わらせていただいたらいいのか学べた」
「妊婦、産婦、褥婦のハイリスクで、搬送元、搬送先での役割やどのような情報が必要か
などグループワークを通して学べたのが良かった」など

第3回

「新生児の呼吸・循環器の疾患について、病態を交えてしっかり学ぶことができた」
「普段行っているケアの大切さを改めて実感できた」など

第4回

「具体例を提示してただけでその具体的な対策まで知ることができた」
「グループワークを行い、改めて相談やカンファレンスの大切さ実感した」など



- お知らせ等は、本学よりメールで送信いたします。
メールに受信制限をかけている方は、本学からの返信メールを受信できない場合がありますので、本学ドメイン「mcn.ac.jp」を指定受信設定してください。
- 応募締切日を2週間以上過ぎても連絡がない場合は、お問い合わせください。
- お預かりした個人情報本研修のみに使用し、研修終了後は一定の期間をもって適切に破棄します。
- 本研修の様子を、写真等で本学のホームページ等に掲載する予定です。
- 会場内での写真撮影・録画・録音を禁止いたします。ご了承ください。



お問合せ先

三重県立看護大学 地域交流センター 担当:川瀬
TEL:059-233-5610(平日9時~17時) E-mail:rc@mcn.ac.jp